



MR(麻しん・風しん混合) 任意接種費用の全額助成

MRワクチンは定期予防接種として、2回接種する機会がありますが、定期接種の対象年齢を過ぎてしまうと、「任意接種（保護者の判断で接種するかどうか決めるもの）」となります。品川区では、MRワクチンを任意接種される方に接種費用の全額を助成します。

■対象者

2歳～19歳未満で、定期接種を受けられなかった方

2歳以降、年長になる前 MR1期が未接種の方
小学生以上、19歳未満 MRワクチンを1回しか受けていない方

■費用 **無料** ただし、有効期間内に契約医療機関で接種した場合に限ります。

■接種の受け方（助成の受け方）

品川区が発行する予防接種予診票と母子健康手帳を医療機関に持参して接種します。

STEP1 母子健康手帳を持って区役所または保健センターへお越しください。予診票を交付します。

STEP2 同封の品川区内の契約医療機関で接種予約をお取りください。
※他市区町村の医療機関や、品川区内でも契約のない医療機関で接種した場合は全額自己負担となります。

STEP3 接種日当日、予防接種予診票と母子健康手帳を持参して接種します。

■注意事項

- ▶ 予防接種法に基づかない任意予防接種は、万一ワクチン接種による健康被害が発生した場合でも、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。
- ▶ ただし、薬機法で承認されたワクチンを使用した場合に限り、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。
- ▶ 日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象になりません。接種時に医師に確認をしてから接種を受けてください。
- ▶ 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は接種を受けることができません。風しんを含むワクチン接種後は、少なくとも2ヶ月間避妊が必要です。

■麻しんとは

麻しん（はしか）は、ウイルスの感染によっておこる急性発疹性の感染症です。約10日～12日の潜伏期のあとに、鼻水、咳、結膜充血等とともに発熱します。数日間この状態が続いた後、いったん解熱するかにみえるものの再び高熱となり、全身性の発疹が現れて高熱はさらに4～5日続きます。麻しんに罹患した場合、特異的な治療法はありません。

■風しんとは

風しんは、ウイルスの感染によっておこる急性熱性発疹性です。2～3週間の潜伏期のあとに、発疹、発熱、リンパ節腫脹が認められます。約15%～30%の人は不顕性感染で終わります。症状は比較的軽いですが、妊娠20週頃までの妊婦に感染すると、出生児が難聴、先天性心疾患、白内障等を発症する可能性があります。

■ワクチンの効果

- ◆ 母親が免疫を保有していても、生後4～6か月で受け継いだ抗体はほぼ消失し、6か月を過ぎると罹患する可能性があります。ただし、1歳前に接種した場合のワクチンの効果および安全性は十分に評価されていません。このため、1歳を過ぎたらできるだけ早くMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)を接種することが重要です。
- ◆ 弱毒化が確かめられている生ワクチンで、0.5mlを皮下注射します。
- ◆ MRワクチンの接種による抗体陽転率は95%以上で、接種を受けた多くの人が抗体を獲得できると考えられます。

■ワクチンの副反応

MRワクチンの副反応の主なものとして、接種直後から数日中に過敏症状と考えられる発熱、発疹、そう痒等がみられることがありますが、これらの症状は1～3日で治癒します。また稀に、ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄膜、脳炎・脳症、およびけいれん等がおきる可能性があります。

品川区保健所 保健予防課 ☎5742-9152

品川保健センター☎3474-2225 大井保健センター☎3772-2666 荏原保健センター☎5487-1314

品川区 子どもの予防接種

予診票に記載された有効期間を超えた場合は、無料での接種はできません

令和7(2025)年4月1日 現在

	通知時期	種類	接種回数	方法	
定期 予防 接種	生後2か月	五種混合 (ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ Hib(ヒブ))	1期 初回	3回	生後2か月から20日以上の間隔において 3回 [標準]標準的には、20～56日の間隔において接種
		小児用肺炎球菌	初回	最大3回	① 開始日が生後2か月～6か月の方は3回接種(生後24か月まで。2回目の接種が12か月を超えた場合は3回目は接種しない) ② 開始日が生後7か月～1歳未満の方は2回接種(生後24か月まで) ③ 開始日が1歳以上2歳未満の方は 60 日以上の間隔で2回接種 ④ 開始日が2歳以上5歳未満の方は1回接種
		B 型 肝 炎		3回	27 日以上の間隔において2回接種し、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて3回目を接種(1歳誕生日の前日まで) [標準]生後2か月～8か月の間に 3 回接種
		ロ タ ウ イ ル ス		2回(ロタリックス) 3回(ロタテック)	ロタリックス(1 価):生後6週0日～24週 0 日までに2回経口接種 ロ タ テ ッ ク(5 価):生後6週0日～32週 0 日までに3回経口接種 1 回目は生後14週 6 日までに開始
	生後5か月	B C G		1回	満1歳誕生日の前日まで 1回 [標準]生後5か月～8か月
	1 歳	五 種 混 合	1 期追加	1回	1期初回完了後、6か月以上の間隔をあけて 1回 (7歳6か月にあたる日の前日まで) [標準]1 期初回完了後 1年～1年半あけて 1 回
		小児用肺炎球菌	追加	1回	初回接種①および②の方 1 回 (③および④の方は必要ありません) [標準]初回完了後 60 日以上あけて生後 12 か月～15 か月までに1回
		MR(麻しん・風しん)	1期	1回	1歳～2歳誕生日の前日までに 1回
		水痘(水ぼうそう)	1回目 2回目	2回	1歳～3歳誕生日の前日までに、3か月以上あけて 2回 [標準]1回目は生後 12 か月～15 か月。2回目は1回目から6か月～1年あけて接種
	3歳	日 本 脳 炎 ※ 1	1期 初回	2回	7歳6か月にあたる日の前日までに 2回 [標準]6日から28日までの間隔において2回
4歳	1期 追加		1回	1期初回完了後6か月以上の間隔をあけて 1 回(7歳6か月にあたる日の前日まで) [標準]1 期初回完了後、おおむね1年を経過した時期 ※2	
小学校就学1年前の 4月	MR(麻しん・風しん)	2期	1回	小学校に入る前年度の3月31日までに 1回	
9歳	日 本 脳 炎	2期	1回	9歳～13歳誕生日の前日までに 1回 ※2	
11歳	DT(ジフテリア・破傷風)	2期	1回	11歳～13歳誕生日の前日までに 1回	
6年生(女性のみ)	HPV(子宮頸がん) ※3		3回	小学 6 年生から高校 1 年生相当の年度末までに 3回 (ただし、1回目を15歳前日までに「9 価ワクチン」で接種の方のみ 2回)	

※1 日本脳炎1期は標準的には満3歳から接種開始となりますが、生後6か月から接種が可能です。3歳前に接種をご希望の方は、品川区電子申請サービスより予診票交付申請をしてください。

※2 日本脳炎は、平成17年～平成22年まで、積極的勧奨が行われていませんでした。その間の対象年齢(平成17年4月2日から平成19年4月1日生まれ)の方は、20歳の誕生日の前日まで無料で接種を受けることができます。

※3 平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女性で、令和4年4月1日から令和7年3月31日の間に1回以上接種している方は、令和8年3月31日まで残りの接種回数を無料で受けることができます。

任意 予防 接種	【任意予防接種費用の一部助成】区内契約医療機関のみ助成可能。予防接種料金から助成金額を差し引いた金額を窓口でお支払いください。 予防接種料金は医療機関ごと異なりますので、事前に必ず確認してください。	
	① 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1歳～小学校就学前年度末までに接種を受ける場合、 3,000 円を助成 (2 回まで) [標準]予防接種予診票は医療機関にあります
	② MR (麻しん・風しん混合)	▶2歳～19歳未満で、定期接種を受けられなかった方が接種する場合、 全額助成 (2 回まで) ▶接種を受けるためには区が交付する予防接種予診票が必要です。品川区電子申請サービスより予診票交付申請をしてください。
	③ インフルエンザ (10月1日～1月31日)	▶生後 6 か月～高校 3 年生相当までの方が接種を受ける場合、 2,000 円を助成 ▶助成回数:皮下注射 ⇒ 12 歳以下は 2 回まで、13 歳以上は 1 回のみ 経 鼻 ⇒ 2歳以上が対象。年齢にかかわらず 1 回のみ [標準]予防接種予診票は医療機関にあります
④ 男性の HPV	小学 6 年生から高校 1 年生相当の男子が接種を受ける場合、 全額助成 (3 回まで) [標準]予防接種予診票は医療機関にあります	

品川区 保健予防課 予防接種担当 ☎5742-9152 Fax 5742-6013

品川保健センター ☎ 3474-2225
Fax 3474-2034

大井保健センター ☎ 3772-2666
Fax 3772-2570

荏原保健センター ☎ 5487-1314
Fax 5487-1320

こどもの予防接種予診票交付申請

(品川区電子申請サービス)

予診票紛失
転入の方は
こちら

